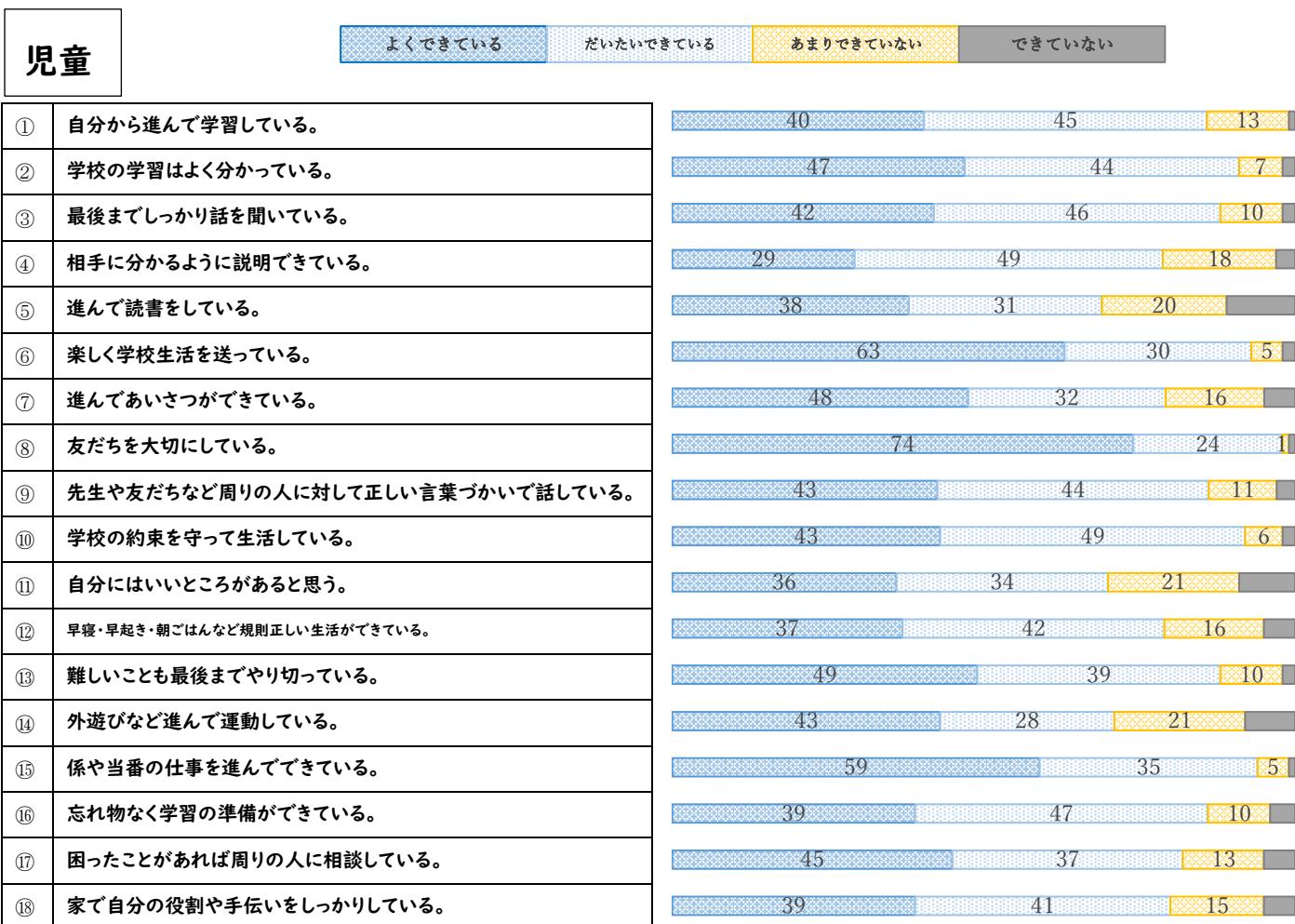


第1回学校づくりアンケートへのご協力、ありがとうございました。結果をお知らせします。表面は、児童のアンケート結果、裏面は保護者の方のアンケート結果を掲載しています。比較しながら見ていただけますと幸いです。教職員も夏休みにアンケート結果を見ながら、唐橋小学校の現状や今後について語り合いました。今回の結果を保護者の皆さんと一緒に受け止めて、共に子どもたちの成長に関わっていきたいと思います。



⑪自分にはいいところがある。

教職員でたくさん話題にあがったのが、⑪「自分にはいいところがある。」の項目です。およそ7割の児童が肯定的に回答していますが、反対に見れば、およそ3割の児童が否定的な回答をしています。教職員から「よい行動や素敵な姿を言葉にして褒めていきたい」「たくさん声をかけていきたい」といった声があがりました。ご家庭ではいかがでしょうか。どんなことに気を付けて関わるといいのか、少し調べてみました。

- ① 子どもの話を聞いて肯定してあげる。
- ② 子どもに選択してもらう
- ③ 子どもに考えてもらう
- ④ 褒める時は結果だけでなく、過程を褒める
- ⑤ 他の子どもと比較しない
- ⑥ 転ばぬ先の杖はつかない

子どもに関わる大人として、保護者の方と教職員が一緒になって、できることから少しづつ意識して過ごしていきたいものですね

⑦進んで読書をしている。

児童・保護者アンケート共に肯定的な回答が他の項目に比べて少なかったのが、読書に関わる項目です。「読書をする時間や気持ちの余裕がないのかな」「大人も余裕がないとじっくりと読書できないな」「社会全体的にもデジタル化が進んで、特に紙媒体での読書離れが進んでいる」などの声が教職員からありました。

読書に親しみ、豊かな心を育んだり、読解の力を伸ばしたりしてほしいものです。まず、大人から、少しづつ余裕のあるときに読書をしてその姿を子どもに見せたり、子どもと読書の話題をしてみたりしていきたいものです。

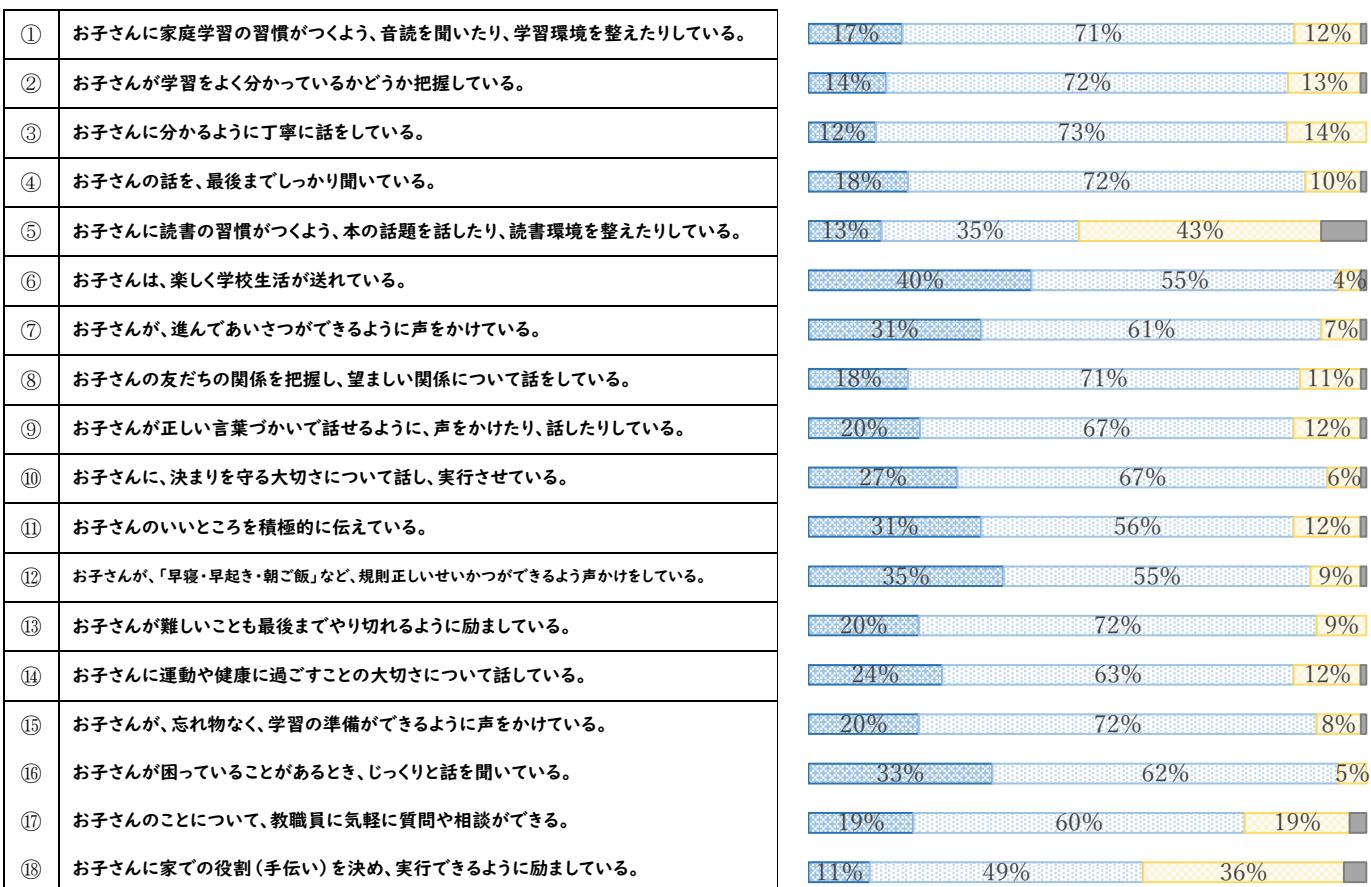
保護者

よくできている

だいたいできている

あまりできていない

できていない



⑰お子さんのことについて、教職員に気軽に質問や相談ができる。

保護者の方のアンケート結果から教職員の間で多く話題にあがったのが、⑰「お子さんのことについて、教職員に気軽に質問や相談ができる。」の項目です。およそ2割の保護者の方が、「あまりできていない」「できていない」と回答されています。昨年度後期の学校づくりアンケートに比べて1割ほど多くなっています。教職員からは、「この結果を真摯に受け止めなければならない」、「教員からも保護者の方に普段からコミュニケーションをとっていくたい」などの声があがりました。

どのような背景があるのでしょう。もしかすると、「学校の先生は忙しいから…」というお気遣いがあるのかもしれません。また、「放課後や休みの日の困り事だから学校の先生に相談するのは…」とお考えのこともあるのかもしれません。または、「先生に相談しても解決しないことだから…」とためらわれることもあるのかもしれません。

放課後や休みの日はもちろん学校の管理下ではないので、解決に向けて教員が踏み込むことができないこともあると思います。しかし、お子さんの困りや保護者の方の悩みには、耳を傾け、寄り添っていければと思います。ご気軽にご質問、ご相談ください。

また、学校スクールカウンセラーもおります。カウンセリングをご希望の際は学校までご連絡ください。